

CS.: 次世代情報システム検討分科会

【年間活動テーマ】2030年のキャンパスシステムを創造する
第1回活動報告

日時：2018年5月30日(水) 13:00～17:30
場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館305教室
出席者：68名（大学関係者34名）
研修テーマ：「RPAで大学事務業務は軽減できるのか？
～AI、ロボット活用で残業ゼロ！？～」

1. 研修内容

第1回分科会は年間活動テーマに関連した紹介として、2030年を10年先の未来と捉える事なく、今、社会に起こっている変化、新たなサービスの創出やICT利活用に関してのお話し、また、当日の開催テーマに関連したお話しとしてRPA（Robotic Process Automation）とは何か、民間等での活用事例、導入効果や期待について紹介がありました。後半においては2つの紹介をご参考にしていただき、分科会恒例のグループ討議を通して、大学における新たなサービスや実施課題等に関して意見交換を実施いたしました。

2. スケジュール

13:00～13:10 全体会
・開催校ご挨拶
同志社大学 総務部長 谷本 高彦 様

・本日の分科会について

13:10～14:40 紹介1「デジタルビジネスと社会課題に挑む～共創で可能性を無限に～」
富士通株式会社 デジタルフロント事業本部
本部長 柴崎 辰彦 様

紹介2「RPA活用を成功に導くポイント
～デジタル業務改善による働き方改革推進～」
富士通株式会社 公共地域営業グループ
デジタルビジネス戦略推進統括部 ビジネスイノベーションセンター
アシスタントマネージャー 高本 茂 様

14:55～16:25 意見交換会（ワールド・カフェを開催）

16:40～17:30 ラーニングコモンズ紹介と見学
同志社大学 総務部情報企画課長 中原 伸夫 様

